

【別紙】 不法無線局等による混信・妨害の発生事例と対策

近年、身近にある様々な電気・電子機器から発せられる電磁波により混信・妨害が発生しています。

平成24年度に中国総合通信局の管内では、次のような事例が発生しました。

(1) 換気扇インバータ装置からAM放送（900kHz）への受信障害

昨年6月、島根県内の特定地域においてAM放送（900kHz）に受信障害が発生するとの申告を受けて調査した結果、飲食店に設置された換気扇インバータ装置から経年劣化により発生した電磁波が原因であることを特定して、障害を排除しました。



換気扇と障害原因となったインバーター装置
(イメージ)

(2) 無線トランスミッターから自宅内の無線LAN装置への混信

昨年12月、山口県内の民家で無線LAN装置が使用できないとの申告を受けて調査した結果、自宅内の無線トランスミッター(2.4GHz帯)の動作不良が原因であることを特定して、混信を排除しました。



原因となった無線トランスミッター

(3) 照明器具の点滅用アタッチメントからテレビ等への障害

本年1月、岡山県内の商店でテレビや車のキーレスエントリーに障害が発生するとの申告を受けて調査した結果、商店街の店舗で使用されていた照明点滅用アタッチメントから経年劣化により発生した電磁波が原因であることを特定して、障害を排除しました。



原因となった照明点滅用アタッチメント

(4) LED広告ディスプレイから消防無線への障害

本年1月、広島県内の消防無線に通信障害が発生するとの申告を受けて調査した結果、店舗敷地内のLED広告ディスプレイから発生した電磁波が原因であることを特定して、障害を排除しました。



原因となったLED広告ディスプレイ